

「賢く強くなる」ことが豊かさの条件

長期的に見て、日本は凋落傾向にあります。大きな文脈で語るなら、国際的には新興国、特に中国の台頭、国内的には少子高齢化による社会保障費の激増によって、競争力強化等への前向き資金が使えなくなり、諸外国と比べて大幅に見劣りするようになって来ています。若者の減少による切磋琢磨の低下と前向き分野への人材の絶対数の不足、さらには高度成長時代のキャッチアップ型の社会システムが、次世代技術やニュービジネスの育成を阻み、これまでの社会構造に組み込まれてきた大多数の人々が既得権を守る為に改革に抵抗し、社会教育機能を担うべきマスコミは視聴率や購読数の伸長に汲々とし、国民に必要な情報を刺戟し注目を集めることとの間で揺れ、政治家も学者も批判を恐れて変革への核心を突く事がなかなか語れず、痛みを伴う肝心なことには大多数の方々には触れられませんでした。

豊かさを徐々に失っているのです。日本は戦後、世界で2番目に豊かな国になりました。決していい時代ばかりではありませんでした。戦後の焼け野原と比べても、外国と比べても、とても豊かな国になったことは事実です。しかしそこに安住してしまえば、必死に日本に追いつき、追い越そうとする国々によって、日本は相対的に貧しくなってしまう。また、高度経済成長を目指す中で、なおざりにされてきたことも沢山あります。低賃金労働や生活困窮者、消費者保護、長時間労働、子育て、地域や家庭の絆、地方の困窮。それがまたこの国の貧しさとして顕在化してきています。

私達は今、この国が乗り越えなければならぬ課題を正しく、そして勇氣と覚悟をもって受け入れ、その克服に向けて力強く一歩を踏み出して行かなければならないのだと思います。子育てに忙しい若い世代の特に女性への支援策の脆弱さと、際限なき保険医療の高額化が、少子高齢化と財政膨張というこの国の最大の病巣を巨大化させてきました。そしてその病巣はこの国の未来の豊かさ作りさえ萎縮させてしまっています。今こそ身を削ってでも未来の日本への投資を進めましょう。子育ての支援、医療費の削減、女性や高齢者の労働力開発、財政再建の為に増税は、もはや必須の痛みを伴う改革です。そして、生活困窮者自立支援、不当格差の是正、年金保障の充実を行ない、産業競争力の強化、産業生産性の向上、教育効率向上と産業人材育成の強化等への積極投資、そして、外交力の強化と安全保障の充実を図っていかなければならないと思います。

子ども達に、孫達に、希望ある豊かな未来を残す為に、私達は決然と困難に立ち向かう。そんな賢く強い国民に、私達はなりたいと思います。私はその最初の一步である労働の問題、非正規雇用の不当格差是正、長時間労働是正、女性や高齢者の職場開発、傷ついた人達の就労支援、年金や生活保護等のセイフティネット問題に専門的に取り組んでいきます。これらの解決だけでも大変大きな改革であり、時間もかかるでしょうが、早く一定の成果を上げ、次々と為すべき課題に、重要性の高いものから順に、真正面から取り組んでいくつもりです。これらもその為に、お叱りを頂くような提言を皆様に発していくことがあるかもしれません。どうかご理解いただきたく、お願い申し上げます。

Facebook でも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あ な み よ う い ち

衆議院議員 穴見陽一 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

